

〈古代〉

# 住吉には、 海を支配する 豪族がいた

今から千6百年前ごろの古墳時代に、住吉の地域を支配する大きな力をもった豪族が登場しました。その豪族を埋葬したのが帝塚山古墳という大きなお墓で、南海電車高野線の帝塚山駅のすぐ西にある木立に覆われた小山がそれです。上から見て円形の山と方形の山がくっついた形の「前方後円墳」というお墓で、長さが120mもあるとても大きなお墓です。全体の表面には河原石が敷き詰められ、たくさんの「埴輪」と呼ばれる焼き物が並べられていたことがわかっています。ですから、この墓は土を盛り上げたり、石を運んだり、焼き物を作ったりと、多くの人々を働かせて造られたことでしょう。

この古墳の周辺にはほかに大帝塚古墳、弁天塚古墳、二本松古墳、万代古墳など、住吉とその周辺を支配していた豪族たちの墓があったのです。大阪湾に面したところに作られたこれらの古墳は、人や荷物を運ぶ船や魚や貝を取る漁船からも、表面に貼られた石が光り輝く姿をながめることができたでしょう。帝塚山古墳に葬られた豪族は大阪湾の船の往来をも支配していたのではないでしょうか。



帝塚山東1丁目、万代古墳の発掘調査



出土した埴輪。帆立貝形といわれる形だった

豪族の古墳があった帝塚山周辺





## 「帝塚山古墳」の巨大さ

帝塚山古墳の全長は120mです。この大きさがどれぐらいかを、日本最大級の古墳群である百舌鳥古墳群と古市古墳群の中で比較してみましょう。

百舌鳥古墳群では、日本一大きい大仙古墳の486mをトップに23基ある前方後円墳の中で、帝塚山古墳は9番目の大きさになります。また古市古墳群では、日本で2番目に大きい425mの葦田御廟山古墳をはじめとする30基の前方後円墳のうち10番目ぐらいいに相当します。このように巨大古墳群との比較でみても上位に位置づけられますが、全国的にみても大きな古墳になります。

たとえば東海地方最大級の断夫山古墳（国史跡）が全長150m、四国地方最大といわれる富田茶臼山古墳（国史跡）が139m、伊勢地方最大の宝塚古墳（国史跡）が111m、山陰地方最大の北山古墳が110mと、地方で最有力の豪族クラスの規模であることがわかります。

市内唯一、形をとどめた前方後円墳の帝塚山古墳。



日本最大の大仙古墳の周辺にたくさんの古墳がある（堺市堺区）

## 百舌鳥古墳群の大きさと 帝塚山古墳

仁徳陵古墳(大仙古墳)	486m
履中陵古墳(石津ヶ丘古墳)	360m
ニサンザイ古墳	290m
御廟山古墳	186m
大塚山古墳	168m
乳岡古墳	155m
反正陵古墳(田出井山古墳)	148m
いたすけ古墳	146m
帝塚山古墳	120m
長山古墳	110m
永山古墳	104m
長塚古墳	100m
丸保山古墳	87m
城ノ山古墳	77m
錢塚古墳	72m
定の山古墳	69m
御廟表塚古墳	67.5m
竜佐山古墳	67m
坂塚古墳	65m
平井塚古墳	58m
孫太夫山古墳	56m
旗塚古墳	56m
文珠塚古墳	55m
こうじ山古墳	50.5m

